

朝河貫一 あさかわ かんいち 歴史學者。明治六年十二月二十日福島縣安達郡一本
松生れ、昭和二十二年八月十一日没（八七三—一九四八）。筆名形影生。明
治二十八年東京專門學校を首席で卒業後アメリカに渡り、二十二年ダ
ートマス大學を卒業、次でついでエール大學に入り大学院課程を修了。三十
五年『*a Study in the Reform of 645 A.D.*』（明治二十六年刊）で學
位を取得。三十七年『*THE RUSSO-JAPANESE CONFLICT. ITS CAUSES A-
ND ISSUES*』（1904. LONDON. ARCHIBALD CONSTABLE & CO., LTD.）を著け
して、日露戦争に於ける日本の正當性を説いた。二十九年エール大學
圖書館、アメリカ議會圖書館の依頼で日本關係圖書収集のため歸朝。
翌年アメリカに戻りエール大學講師（日本文化史擔當）となり、兼て
同圖書館の東アジア・コレクシヨン部長を務めた。
四十一年日本外交批判の一書と著はして日本を送り、原稿を讀んだ坪
内逍遙の命名で『日本の禍機』（明治四十一年六月十八日實業之日本
社）と題して出版。大正六年日本中世史研究のため東京帝國大學史料
編纂所に留學。昭和四年主著『*THE DOCUMENTS OF IRIKI*』（入來文書）
を完成出版、封建制の實證的研究として西歐學界からも高い評價を受
けた。十一年エール大學歴史學教授。
傳記は、阿部善雄著『最後の「日本人」—朝河貫一の生涯』（昭和五
十八年九月二十日岩波書店）があり、その主要書目録を附載。

